

はしれ マラソン大かい

新見市立高尾小学校

一年生 仲田 新

十一月六日、しんごうこはんマラソンのファミリーコースに 出じようしました。年ちようさんから 三年生まで、おや子で 一、五キロメートル はしります。ぼくは、この大かいに 出るのは 二かい目です。ぼくが 年中さんのとき、おねえちゃんと、おとうさんが はじめて 出じようしました。マラソンを して いる おねえちゃんが かつこよかったので、ぼくも はしって みたく なりました。でも きよねん おかあさんに いっしょに はしろうといわれた とき、はしりたい 気もちと、こわい 気もちがぶつかって、なみだが 出ました。おかあさんに、「ゆっくりでも、ビリに なっても いいから いっしょに

がんばろう。おかあさんが ひっぱって あげるから。」といわれて、出ることに きめました。大かいでは、さいごの ながい さかみちで おかあさんに、手を ひっぱって もらいました。でも あるかないで ゴールできたので、おとうさんも おかあさんも すぐく ほめて くれました。ぼくも やれば できるんだと おもって、とても うれしかったです。

ことは じぶんから、

「はしりたい。」

と いいました。もう こわい 気もちは まったく ありませんでした。ことしの もくひょうは、ひとりで さいごまで はしる ことでした。スタートラインに たったと き、

「おかあさん、がんばろうな。」

と いって、手を にぎりました。はしりだしたら 体がかるくて、どんどん はしれました。おかあさんが、

「あらた、さきに いって。」

と いったので、まえに いきました。きよねん 手を ひっぱって もらった さかみちに ききました。雨も ふつ

てきて、えらくて すこし あるきたく なりました。ぼくの うしろに、おとうさんに 手を ひっぱって もらっている 男の子が 見えました。

もくひょうを きめました。それは、ことしの じぶんにかつ ことです。

「だめだ。まけるもんか。」

と おもって はしりました。やっと ゴールまえまで きたけど、おかあさんが こないので、しんぱいで もどりました。おかあさんは とても えらそうでした。

「おかあさん、がんばって。」

ぼくが 手を ひっぱって ゴールしました。

「あらた、はやかったな。よく がんばった。」

おとうさんと、おかあさんが ほめて くれました。ぼくは、きよねんよりも つよく なれた 気がして、すごくうれしかったです。ぼくが、

「おかあさんが はやく こんから ぬかれたんで。」

と いうと、おかあさんが、

「ごめんな。あらたが はやくて ついて いけれなかった。

らいねんは おとうさんと 出てな。」

と いいました。ぼくは、らいねんも ぜったいに はしりたいなど おもいました。そして、さっそく らいねんの